

基本戦略名	2-1 新しい時代に対応した力強い産業を育てる	事業群主管所属・課(室)長名	総務部 学事振興課	櫻間 秀道
施策名	1 成長分野の新産業創出・育成	事業群関係課(室)		
事業群名	⑥ 県立大学情報セキュリティ産学共同研究センター(仮称)を活用した産業振興	令和6年度事業費(千円)	※下記「2. 令和6年度取組実績」の事業費(R6実績)の合計額	0

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文) 全国的に情報セキュリティ人材が不足する中、全国初の情報セキュリティ学科を有する長崎県立大学において産学連携の拠点となる情報セキュリティ産学共同研究センター（仮称）を整備し、企業との共同研究等を推進するとともに、実践的な教育を通じて即戦力となる高度専門人材の育成と県内産業の振興を図ります。							(取組項目) i) 大学と企業による共同研究等を通じた連携の促進及び産業の振興 ii) 情報セキュリティ高度専門人材の育成（社会人を含む）			
事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標（年度）	(進捗状況の分析) 情報セキュリティ産学共同研究センターについては、令和2年度に基本・実施設計が完了、令和3年度は建設工事に着手、令和4年度に建物が完成し、令和6年度から供用を開始した。共同研究数は、令和3年度は累計33件、令和4年度は累計53件、令和5年度は累計73件、令和6年度は累計93件と、同センター内に設置した共同ラボへ入居している企業や誘致企業等との連携により増加している。
	取り組んだ共同研究数（累計）	目標値①		14件	25件	36件	50件	64件	64件 (R7)	
		実績値②	7件 (H30)	33件	53件	73件	93件		進捗状況	
		達成率 ②/①		235%	212%	202%	186%		順調	

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<div>i 大学と企業による共同研究等を通じた連携の促進及び産業の振興</div> <div>●実績の検証及び解決すべき課題 県内産業の振興に寄与するため、情報セキュリティ学科の入学定員を令和3年度に増員し、情報セキュリティ分野における企業との共同研究の拠点となるセンターの整備を進め、令和5年度供用開始となった。整備効果が高いものとなるよう、関係機関とも連携しながら活用を図っていく必要がある。</div>	<div>●課題解決に向けた方向性 情報セキュリティ産学共同研究センターについては、令和5年度から産学連携推進マネージャーを配置しており、学生・教員・企業間の接点の創出や研究支援の役割を担うことで、共同研究の促進、人材の育成、地元企業との連携等による地域産業の活性化につながる取組を行い、センターの活性化を図っていく。</div>
<div>ii 情報セキュリティ高度専門人材の育成(社会人を含む)</div> <div>●実績の検証及び解決すべき課題 全国的に情報セキュリティ人材が不足する中、情報セキュリティ学科では、令和3年度から入学定員を40名から80名に増員し、さらなる人材の育成に取り組んでおり、情報セキュリティ産学共同研究センターを活用した学生と企業との交流や実践的教育の充実を図っていく必要がある。</div>	<div>●課題解決に向けた方向性 整備した情報セキュリティ産学共同研究センターを活用し、企業との共同研究や実践的な教育など教育内容の充実を図り、即戦力となる高度人材の育成を行っていく。</div>